

市民の知る権利に応える

The Gallery 傍聴席

第21号

2004(平成16)年7月31日(土) 発行・相模原市議会をよくする会
6月定例会版

どう変わる市議会制度？ 守れるか議員個有の権利

昨年6月から約1年間協議を重ねてきた議会制度検討協議会(委員長・稲垣 稔)が、その「結果報告書」を議会運営委員会(委員長・折笠峰夫)に5月10日提出した。当会はその報告書に示された各会派の主張などを、現在の会派構成をもとに判断、予想される最終結論を描いてみた。当然、今後の議運委での協議結果次第では異なった結果にもなる。

今回の「結果報告書」には協議会の結論として提案されたものは一切なく、言わば各会派の考えをアンケート集計したに過ぎないとも言える。更に長期間にわたる議運委での協議も予想される。当会は、全会派合意事項の順次実施を求めたい。(同意会派欄に名前の無い共産党などの会派は、原則として現行維持などを主張している。)

こんな制度になりそうだ！

(多数決なら) ○印=全会派賛成

検討項目	予想される新制度	同意会派 (46議員中同意人数)
総括質疑	<ul style="list-style-type: none"> 代表質問という呼称に変える。 日数 3・9 月定例会=2日間, 6・12月定例会=1日間 会派質問者 (3人以上会派代表、質疑も質問も可) 個人質問者 (3人未満会派・個人、質疑のみ可) 時間=人数×10分 ・質問順=大会派から 質問回数=全員3問まで 	市、公、民、社 (36) 市=市政クラブ 公=公明党 共=共産党 民=民主クラブ 社=社民党 東=東條 西=西村 ネ=神奈川ネット
【注】	質疑は議案への質問。質問はその他の質問。	
一般質問	<ul style="list-style-type: none"> 常任委員会審査前に持ってくる。(従来は常任委員会後の3日間) 質問者数21人に限定。(正副議長・監査委員を除く) 質問順=議長一任(従来は受付順) 質問時間=1人20分基準 ○質問回数=全員3問まで 	市、公、民、ネ (36) 市、公、民、社 (36) 市、公、民、社 (36) 市、公、民、社、ネ、東・西 全会派 (46) (40)

傍聴報告・6月定例会

■ 本会議 (感想と意見) (6月3, 9, 28, 29, 30日の5日間)

1. 住民投票条例についての藤井議員の説明は明快。菅野議員が質した市長の答えや部長達の答え、そして反対会派の答えはただただ住民パワーを恐れている点で一致していた。
2. 長友克議員の住民投票条例の賛成討論は分かりやすい内容で納得できた。
3. 一般質問では基地問題、爆音被害など多かったが、市長らが外務省や基地への直接交渉など市独自の動きが出ていた。
4. 毎回出てくる新語。中村議員から「��ーセルズ」(当市向けの全国PR)「フィルムコミッション」(映画等の叩隊誘致で市PR)の提言に、市は積極的な対応を回答。
5. 小池議員が「広報さがみはら」の費用節減案を披露。併せて「議会だより」もやってほしかった。
6. 川田議員が銀河アリーナの通年スケート利用化を提言。即時実行可能・メリット大なら、期限付きで強く迫るべきだった。
7. 議提議案第7号の年金法案撤回に賛成の社民党と長友義議員、請願3号の地方議員年金見直しには反対でしたね。何故ですか？
8. 毎年6月議会に法人の監査報告があるが、全く質疑がない。チェックしてますか？議員の皆様。
9. 長友義議員、これこそ「感動した！」というお手本のような質問をしていた。
10. 長友克議員、いい質問を褒めたいのですが、居眠りが多くてガッカリです。
11. 細谷政議員の後援会らしき傍聴者は、禁止の拍手。質問も事業報告を求める程度のもので、市側もリラックス。終始ナコガヤ。
12. 金子議員の1問目は良かったのに、2問目は解説が冗長で深い眠りを誘った。
13. 東條議員は児童クラブ、3町合併、鳩川・道保川改修事業用地買収の件とも、行政の不備を的確に突いていたが、当然市側の答弁は“スリ硝子張り”だった。
14. 関山議員のまるでバスガイドさんのような独特な朗読に、ちょっとびっくりした。
15. 大上議員が中学剣道部の防具10万円の個人負担の問題、子供をベビーカーに乗せたままのバス乗車要求など生活者の視点からの質問は良かったが、基地対策が基地騒音対策だったのは残念。
16. 田中議員、鳩川・道保川改修事業用地買収問題を折角取り上げたのに、なぜ2問目なし。あれ、どうしたの？
17. 沼倉議員は棒読み、つかえ、読み間違えは止めて。HP問題にしても、自分の中から出てきたのか疑う。読み方のせい？
18. 菅野議員の迫力と親しみやすさは満点。弱者の立場に立つスタンスがハッキリしていて分かりやすい。
19. 岩本議員の高齢者・障害者の「移動する権利」という視点は新鮮だった。輸送サービスを移動サービスと言い換えると、供給側の論理から受益者側の論理に変わる一助になるかもしれない。
20. 長友克議員の指定管理者の管理問題は、今後も放置せずモニターしてほしい。また市町合併協議の今後に向けて、「市長に発信してもらいたい。どうしても言えないのかどうしても分からない」と質す。議員にも分かってないのにわれわれ市民にどうして分かるのか。
21. 岸浪議員の「さがみはらごみダイエットプラン」なんて誰がつけたの？「相模原市ごみ減量計画」でいいじゃない。それと、彼が出生率の数値目標を気に入るとか入らないと言うのは滑稽。さらにごみを市民1人が(毎日?)60g減らすのを目標とし、さらに10g、20gと目標を上げたいと言ったときには思わず吹き出した！

22. 大沢議員の質問時には毎回、市政クラブのお喋りが頂点に達する。馬鹿にしきっているのかも。2問目の冒頭、「私の第1問目の仕方が悪かったのかしれませんが、市長には個別に答えて貰いたかったのではなく...」と読み上げたのには啞然とした。いつ書いたの？それとも、書いてあるように言う技術なのか？
23. 川田議員の銀河アリーナでの提言。3

問目の要望の時になって、それまで言わなかった情報を山ほど出してあんなに熱く憤るなら、なんで2問目にきちんと質さないのか、全く理解できなかった。

24. 3問目とは質問の3番目と言うこと？では何故、答えがないのでしょうか。相模原市議会では日本語がかなりおかしい。是正すべき議会用語を今後出してみたい。 ■

■委員会 (感想と意見)

■総務委員会 (6月11日)

- 議提議案が提出されると、議会は俄に活気づく。共産党の「相模原市住民投票条例」案が審議され結果は不採択だった。
- 金子委員が過去の首長・地方統一選挙などの軒並み50%を割る低投票率を例に住民投票の意義に疑問を呈したが、それなら市議選の42.69%で議員になっている自分の矛盾には気づいていないのか。
- 菅原委員は実施時の費用を質問し、市側が約1億円と回答。経費次第では賛成なのか。
- 寺山委員が、議案の提出が唐突で準備不足と指摘のうえ、住民投票は行政効率が悪くなると指摘する市民がいると発言したが、自分の是非の判断はどうなの。
- 折笠委員は、条例作成前にどのように民意を調べたかと質問していたが、是非への意見は述べていなかった。
- 提案説明をした藤井委員が、他委員の質問に的確な答弁が出来なかったのは残念であった。住民投票は選択肢の一つに用意するものと言えば済んだと思う。
- 寺山委員長が「一事不再議」の解釈を誤認、次定例会でも審議は出来ないと発言して、今定例会だけと他委員に注意をされていた。彼は市議何期目だったかな。委員長職を任せて大丈夫か。
- 請願3号(国会議員年金廃止と地方議員年金の抜本的見直しをを求める意見書)

は、呆気なく不採択となったが、菅野委員は採択を表明していた。

- 金子委員、市議は国会議員と違うからと反対。どこがどう違うのか聞きたかった。
- 菅原委員、国会で審議中なので、流れのなかで見直す。趣旨は分かるが、ちょっと違う、と相変わらずのコメント。
- 溝渕委員、大きな問題だが、市は平成15年に見直した。今は考えないという。
- 金子委員、年金だけではない、他のことも含めて議論を要すとの説。典型的な議論回避と先送り手法。
- 菅野委員、市会議員は専門職として兼職が無くなってきている。見直す時期が来ているので賛成と、分かりよかった。
- 陳情第9号(市談合情報マニュアルの不備な規定の是正)は不可思議な採決が行われた。陳情者の最も重要な指摘である、マニュアル通りの業務遂行が必ず実施されるようにマニュアルの規定を是正せよとの論点は議論されなかった。しかしながら、市側の説明が「是正は既に行った」ので陳情の趣旨はすでに満たされたということで、この陳情は今更採択する必要はないと「不採択」になった。寺山委員長でさえ、思わず「では、採択ですね」と発したように、趣旨にそって改善されているなら「採択」でいいはずが、なぜちがうのか。“相模原市議会の7不思議”というしかない。
(実は肝心の「談合情報の業者が落札した場合」という大事な所が、新マニュアルから脱落していた。今後の調査対象だ。) ■

■ 環境経済委員会 (6月14日)

- 容器包装リサイクル法の見直し(改正)を求める意見書の提出に関する請願と陳情が各1つだけの委員会である。市側はもちろん、議員からの提出議案も全くない、62万・中核市。環境経済問題は山ほど有るはずだ。
- 法改正して、収集・分別・圧縮・保管の費用を製品価格に含める。またReduce, Reuse, Recycleの優先順位で推進する様々な手法を盛り込むということなら、国民的見地からは賛成のはずが、なぜか市議会の立場からは否定となるのはわかりにくい話だ。
- 関山委員、ショップでの回収率を質した後で「全国的な流れではあるが、あえて賛成しない」とはこの人らしい。
- 佐藤委員、願意は分かるが(この人の決まり文句)、議会全体でやる時期が来るまで、賛成しない。これは全国市議会議長会で意見書をだしているから今は必要ない。時間おこよう。
- 藤井委員、全国の動きに力を添えたらよいので賛成だ。
- 細谷達委員、同じ願意なら、議長会が出しているので必要ないとは!なら議長会があれば地方議会は不要じゃない?
- 中村委員、メーカーだけに負担させるので反対だ。販売者やユーザーにも負担させるべきだ。
- 請願・陳情審査での相変わらずの休憩時間のヒソヒソ会話が度々。なぜか長友克委員の声だけが聞こえなかった。

■ 建設委員会 (6月16日) は開催せず

★議案ゼロで、委員会日程はキャンセルされた。これは平成8年6月定例会の民生常任委員会以来の出来事。(川田委員長始め9委員の皆さん、最近の土木部をめぐる不祥事問題など、追求すべき事は数多くあったはず。2度とこのような事のないように!

■ 民生委員会 (6月15日)

- たった1つの議案(市印鑑条例)の審議のために開催された。少々の質疑のあと採決が行われ、男女差別欄の削除など総員賛成で採決された。

■ 文教委員会 (6月17日)

- この委員会も市側の議案、議提議案ともなく、請願・陳情が5つのみ。それも義務教育費国庫負担制度および教育基本法改正といった国レベルの問題だけであった。市には審議すべき問題は皆無なのか。そして議員には、公約について市側に注文することはないのか。質問時間を制限するとか、少な過ぎるといった議論が交わされているのに、この“時間放棄”はどう考えたらよいのか。
- 須田新副委員長、西村委員が挙手しているのを、ただ見ているだけ。この間、小林委員長は事務局と相談中。山下委員が気が付いて委員長に合図を出していた。副委員長は委員長補佐の役を果たせず。
- 請願第2号(国庫負担制度堅持の要求)で市側の説明に立った内田学校教育部長が棒読み。部長答弁としては珍しいこと。
- 「教育基本法」関連の3陳情は継続審査になったが、各委員の発言を拾うと:
山下委員=国会の動きが定かでない。それからでもよい。
米山委員=国を愛する...は反対。継続にしたい。
岩上委員=基本法に問題があるとは思わない。
大沢委員=直ぐに戦争に結び付けるのは反対。伝統文化はよい。継続を。
西村委員=なぜ改正を考えなくてはならないのか疑問。教育の自治権も考え、市議会として意見書を採択すべきだ。
- 委員会としては、相模原市議会得意の「独自性を嫌うクセ」が出て、継続審査となってしまった。

→ 1 頁から続く

検討項目	予想される新制度	同意会派 (46議員中同意人数)
常任委員会	○消防所管を総務委員会に移行 (従来は環境・経済委員会) ・民生委員会の2分割(福祉と保健医療とし、計6委員会に) ・9月のみ1日2委員会開催 ・質問時間=持ち時間制(各人20分) ・参考人制度=現行どおり	全会派(46) 市、公(30) 市、民、社(28) 市、公、民、社(36) 市、公、民、社(36)
議会だより	・質問者の会派名・氏名を掲載 ○一般質問内容=1問のみ、残りは質問項目のみ。 ○議案の会派別賛否を掲載。 ・請願・陳情の会派別賛否は載せず、5月臨時号に会派の考え方を掲載する。 ○発行日を市広報に合わせる。	市、公、共、民、ネ、3無所属 全会派(46) (44) 全会派(46) 市、民(26) 全会派(46)
請願・陳情の趣旨/部分/一部採択	・現行どおり、認めない。	市、公、民、社(36)
土・日議会の開催	・現行どおり開催せず、インターネット放映をする。	市、公、社(32)



西村綾子

少数派議員と緊急懇談



東條恵美子



岩本香苗

—— 3市議主催の「議会制度を考える集い」に招かれ ——

当会は7月20日、議会運営委員会で目下検討されつつある「新しい議会制度」のなりゆきを懸念する3市議(岩本香苗=神奈川ネット/東條恵美子=無所属/西村綾子=無所属、50音順)が開催した「議会制度を考える集い」に招かれ、少数会派議員の立場の説明を聞くとともに、制度に関するさまざまな意見交換を行った。主な論点を拾い上げてみる。

- 「総括質疑」の内容が差別される ——
これには代表質問制の要素を取り入れ、会派代表者は“質疑”と“質問”が許され、個人質問者(2人会派や無所属)は“質疑”だけ10分という差別を設けている。公平性が著しく損なわれる。

- 半減する質問機会
一般質問の1定例会の質問者を21人に限る案だ。正副議長と監査委員2名を除く議員数を2分した21人にするという。本来は議員の基本的権利として希望者は全員出来なければならないものを制限する理由が明らかで

ない。また一般質問者から正副議長と監査委員を除く根拠を全く説明してない。更に、一般質問の日程を3日に限る根拠は何だろうか。むしろ議員は毎定例会に質問することを義務づけて、もっと一般質問日程を増やしたらどうか。21人に絞ることが過去の実績を勘案してというなら、派の大小に係わらず、過去の質問回数実績で配分するのが筋ではないか。

会派の員数を質問回数や時間の権利の根拠とするならば、少数派・無所属の議員個人の権利もまた同等に考慮されなければならない。質問を希望しない議員の時間までも会派の持ち時間とするのは筋違いではないのか。

★当会の見解としては、全ての議員は年間2回以上の質問は出来ないと言えれば平等にはなるが、それは本末転倒で、基本的に「21人定員」案を喜ぶのは市長部局（執行機関）側であることを議会は肝に命じてほしい。自ら議会のチェック機能を縮小することを、いままさにしようとしていることを。

● 常任委員会の改悪傾向

先ずは1日2委員会制度の導入が始まろうとしている事。今年はいざしらず、決

算委員会を置く9月定例会等で実現しそうだが、公明党が主張（下記コラム参照）しているように年4回の全定例会を1日2委員会開催を検討するかもしれない。その根拠は今回の『報告書』には説明されていないが、公明党がいみじくも明言しているように、議会の会期短縮にあるとすれば、これまた議会機能の縮小である。昨年12月議会にからんで、大上議員が本会議の1日短縮案を提言したという本会の傍聴報告では物議をかもしたことがあるが、大会派議員らの本音は、どうしても議会の会期を短くしたいということのようだ。

最も注意を引くのは、常任委員会に質疑の「持ち時間制」を導入しようという案。1人20分から40分の案が、共産党、ネット、無所属議員を除く全会派から出ている。議員自ら質疑を自粛する異常な提案である。

★ 市長がいちばん喜ぶ議会制度改革！

これらの検討・論議の様子を眺めている市長達の笑い顔が目には浮かぶようだ。当会では、もっと議会が活性化するだけでなく、相模原市議会のトータルの機能の維持を願って、今後進められる議会運営委員会の検討経過と内容を注視する。 ■

— 公明党はなぜ1日2委員会制度を主張するのですか？ —

『議会制度検討協議会報告書』の中で、公明党だけが、全定例会での常任委員会を「1日2委員会制度」にする事を提案している。そうなれば、市民の傍聴ばかりか、議員自身も所属以外の委員会の審議の傍聴が出来ない。原則公開をうたう市議会の公開度が半減し、市民の傍聴権も奪ってしまう。公明党にその理由をきいた。

公明党の回答 (原文通り)

いつも熱心な傍聴、大変ご苦労様でございます。

会期をもっと効率よく短縮したいと考えています。今後、私共は予算や決算の特別委員会の開催や常任委員会を6委員会（例えば民生を保健と福祉に分割）にし、じっくりとていねいに審議すべきと考えています。

又、二日間に及ぶこともありますので、日程的には一日二委員会にした方がよいと考えます。じっくりと議員が審議する事が一番大事と考えます。

傍聴の方はお一人ではないようですので、工夫して頂ければ幸いです。公明党

■ 議会運営委員会 (5月10, 11, 17, 28 日、 6月9, 18, 30 日)

○5月10日は5月臨時会の運営が議題だった。農業委員、監査委員の選任が焦点。農業委員は定数3に5会派（市政ク、公明、共産、民主、社民）が、監査委員は定数2に3会派（市政ク、公明、民主）が名乗りを上げ、緊迫した。

○5月11日の農業委員、監査委員選任の継続協議の席上、社民の友成委員が農業委員を辞退。長期間一度も同委員になれずやりたかったと強調した。不自然な辞退劇であった。

この日各派の事情から、市民（傍聴者）無視の委員会開催であった。

10時30分 開始

10時45分 休憩に入る。（15分間で）

14時00分 再開予定を再延期

14時30分 再開

14時40分 閉会（10分間で）

★つまり4時間10分のうち実質話し合いは25分だった。傍聴者への配慮や断りはなかった。

○5月10日、議会制度検討協議会の結果報告が稲垣委員長から簡単に行われた。長友克委員が「長い時間かけたので、直ちに検討し、結果を出したい」と発言。

他の委員から、川田委員「ひ実現を」大上委員「方向性を出して」松永委員「中身の検討したい」等の発言。

○6月9～22日の2週間かけて会派間の文言争いで「地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書」を作成した。何事につけてスローなこの委員会の非効率性の典型だった。 ■

議会与党・市政クラブと市幹部が箱根で「意見交換」?

6月30日の6月定例会最終日、議会の最大会派「市政クラブ」（22名構成）は箱根町のホテルで恒例の打ち上げ会に市の最高幹部6人（市長、2助役、収入役、教育長、議会事務局長）を招待、全員が公用車で箱根まで出掛け宴を共にした。私的な会合として宴会費は自己負担。さがみはら市民オンブズマンは、4台の公用車の使

用は「公私混同」と問題視、当日の運転日報の情報公開を請求、その事実を公表し、全国・地方主要6紙が大きく報道した。市長は『公務であり、意見交換をした』とコメントしていたが、本会議では議員の答弁要求を拒む市長の言葉とは思えない。議会でこそ、「意見交換」して貰いたいものだ。宴席でないとダメなのか。

議会 2 題

市議会はこのところ立て続けに国外団体旅行に出掛けている。昨年10月は中国の無錫市へ6人（佐藤賢司団長）、この夏7月14日からはカナダのトロント市に6人（細谷達司団長）が友好親善のためと称して1週間のグループ旅行を行った。

中国組には新人議員も参加、カナダは中堅・長老ばかりだ。どのような人選で

何を目的にどこを視察するのか分からない。この辺で、友好都市制度の見直しをする必要があるのではないか。議員の声も聞きたい。

会では、6ヶ月ちかく前の中国組の出張報告書の情報公開請求をした。近く出来あがるカナダの報告書と併せ、内容の精査をし、次号で報告したい。

海外視察は県会でも議論的である。

議会にとって国際友好都市関係とは何か?

相模原市議会 6 月定例会審議結果一覧表 2004 (平成16)年

【審議結果】

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数									
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)	
第41号	相模原市印鑑条例の一部を改正する条例について ・印鑑登録票の登録事項から性別表示を廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号	公平委員会の委員の選任について (谷口 隆良氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号	人権擁護委員の候補者の推薦について (池田 光義氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第44号	人権擁護委員の候補者の推薦について (齋藤 佐知子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	人権擁護委員の候補者の推薦について (川畑 知恵子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決案第6号	相模原市住民投票条例について	●	●	●	○	○	●	○	●	○	○	○
第7号	年金法案の撤回を求める緊急決議	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
第8号	地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	教育予算の増額と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決、同意 ●=否決、異議

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数									
			市ク (22)	公明 (8)	共産 (5)	民ク (4)	社民 (2)	神ネ (2)	無福 (長)	無福 (西)	無福 (東)	
請願第1号	容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書提出について	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
第2号	ゆとりある教育を実現するための教育予算増額と 義務教育費国庫負担制度堅持について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
第3号	国会議員年金廃止と地方議員年金の抜本的見直しを求める 意見書提出について	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	◎	◎
陳情第23号	教育基本法改正の見送りについて (2003年6月定例会提出)	△										
第9号	相模原市談合情報マニュアルの不備な規定を是正することについて (2004年3月定例会提出)	×	×	×	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	◎
第17号	教育基本法の理念を生かすことを求める意見書の採択について (2004年3月定例会提出)	△										
第18号	容器包装リサイクル法の改正を求める意見書提出について	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
第19号	防犯特別委員会の設置について	△										
第20号	教育基本法の早期国会審議を求める意見書提出について	△										
第21号	義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の 国庫負担制度からの適用除外反対について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
第22号	神奈川県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本改正を 求めることについて	△										
第23号	パート労働者等の均等待遇を求めることについて											

◎=採択 ×=不採択 △=継続審議

『市議会のしおり』(今年3月改訂)の中身が変わっている!

- その1 = 「市議会の役割」の説明で、“(市議会と市長は)それぞれ独立した立場で互いに牽制し”の文章が消された。対立関係を思わせる語句は外した?
- その2 = 1999年までは市議会の構成図に記載されていた「全員協議会」と「各派代表者会議」という実際に重要視されている会議が抹消されている。なぜ?
- その3 = 1999年まではあった請願・陳情の書き方説明が無くなった。
- その4 = 記述内容の根拠である関係法規の付記が無くなった。(大野調べ)

相模原市議会 6月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
細谷 政幸 (市政クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①文化財の保存と活用について ・観光資源としての文化財の活用について ②都市基盤整備について ・電線類地中化計画と今後の予定について ③ゆとり教育と学校評議員制について ④犯罪と社会環境について ・安全、安心に暮らせる街づくりと本市の取り組みについて 	中村 昌治 (市政クラブ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①シティセールスについて ・HPの活用について ②将来の交通網について ・新交通システムについて ③消防団とOBの活動について ・消防団の災害活動の効率化について ④子供の安全について ・学校内の安全対策について
金子 豊貴男 (社会民主党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉の課題 地域福祉を拓く民生委員、児童委員の力 ②環境問題 安全な石炭、環境に配慮した清掃業務、合成洗剤使用をなくすには ③基地問題 キャンプ座間への第1軍団の移駐問題と厚木基地の爆音被害対策、FA18スーパーホーネットの厚木基地への追加配備について 	大上 和夫 (公明党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①人間性豊かな次世代の育成支援について ②環境行政について ・相模川自然の村等における風力発電の実施について ③バス交通対策について ・コミュニティバス等の早期実施について ④安心、安全に暮らせるまちづくりについて ⑤基地対策について
西村 綾子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> ①米軍基地撤去と平和の希求について ・米軍再編計画(トランス・フォーメーション)と基地強化について ②教育問題 ・学校でのゴミ処理について ③津久井3町との合併問題について ④鳩川、道保川改修事業について ・用地買収に関わる税負担の処理について 	田中 武夫 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①有事法制関連法について ・国民保護法は、国民総動員法とも言われているが市長の見解は ②米軍基地問題について ③介護保険制度について ・来年度の見直しにあたり、保険料、利用料の引き上げ等、市民負担増が検討されているが ④「鳩川、道保川改修事業」用地買収問題について
東條 恵美子 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> ①児童クラブについて ・指導員の身分について ②鳩川、道保川改修事業の用地取得について ・市の対応について ③津久井3町との合併について ・広域行政と合併について 	長友 義樹 (無所属) 	<ul style="list-style-type: none"> ①麻溝台雨水幹線整備工事について ②「鳩川、道保川改修事業」用地買収問題について ③公共下水道の設計積算間違いについて
関山 由紀江 (公明党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て支援について ・ファミリーサポートセンターの拡充 ②教育について ・学校教育におけるフリーター対策について ③介護保険について ・市独自の低所得者の利用者負担の軽減について ④駅前総合窓口について ⑤音楽の街づくりについて ・MPコンサートの拡充について 	松永 千賀子 (日本共産党) 	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者の税、公共料金等の負担増の激変緩和について ・関連する国民健康保険税、介護保険等の影響は ②ゆとりある教育環境を ・超過学級、41人学級について ③青年のスポーツ活動環境の拡充を ・小山公園へのニュースポーツ施設計画 ④乳幼児医療費無料化の拡充を ・所得制限撤廃を

相模原市議会 6 月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
武原 祐子 (神奈川ネット ワーク運動) 	①障がい児の支援について ・障がい児の児童クラブについて ・松が丘園の利用について	岩本 香苗 (神奈川ネット ワーク運動) 	①高齢者、障がい者の移動を保障する地域交通のあり方について ・「移動する権利」についての市の考え ・地域交通の現状 ・「介護輸送に係る法的取扱いについて(ガイドライン)」への対応
菅野 通子 (日本共産党) 	①生活資金一時貸付制度の改善と充実について ・実態と拡充について ②生活保護制度の改善を ・生活保護高齢世帯の生活実態と老齢加算の減額、慰問金の廃止について ③国保税の減免制度の充実について ④市営住宅入居者募集のしおりの改善について	長友 克洋 (民主クラブ) 	①指定管理者制度の今後について ・管理者選定基準について ・委託業務のあり方について ②合併協議の今後に向けて ・城山町の動向を受けての見解 ・藤野町の動向を受けての見解 ・過去の津久井地域との連携についての見解 ・アンケート実施についての見解
沼倉 孝太 (市政クラブ) 	①教育問題について ・高校入学試験絶対評価制度導入に伴う入学状況と影響について ・通学区域の見直しについて ②パートナーシップのあり方について ・公民館を拠点とした地域活動におけるホームページ活用について ・特性を生かしたホームページづくりの実現に向けて	岸浪 孝志 (市政クラブ) 	①都市経営ビジョンについて ・情報公開や市民意見の反映と推進体制について ②さがみはらごみダイエツプランについて ・行動指針の実効性ある取り組みについて ③次世代育成支援行動計画策定について ・市民のニーズ調査について ④県立高校の学区改正について ・改正内容の周知について
藤井 克彦 (日本共産党) 	①学童保育の充実について ・児童クラブの整備計画は ②米軍空母艦載機の厚木基地飛行騒音解消について ・実態と市の対応は ③財政見直しについて ・1市3町の合併による市財政への影響は	大沢 洋子 (民主クラブ) 	①高齢化社会における医療の課題について ・終末期医療について ・ホスピス及びターミナルケアについて ・社会福祉法人と医療法人の連携について ・地域の高齢化対策について
小池 義和 (民主クラブ) 	①市民の市政への現状の関心と理解について ・広報さがみはらについて ・費用対効果について ・市民への情報提供の仕方とコスト削減の提案 ②窓口サービスアンケートについて ・実施の仕方について	川田 基晶 (市政クラブ) 	①用地購入に伴う諸問題について ②南清掃工場建替えについて ・機種、メーカーの選定について ・安全性について ③保育行政について ・保育施設と待機児対策について ・認定保育室について ④銀河アリーナについて ・スケート施設の通年化

※詳しい内容は「市議会だより」や「議事録」を参照して下さい。

記事転載

東京新聞 5月28日

新人の女性市議
議会活動報告
相模原

相模原市の市民団体「相模原市議会をよくなる会」(赤倉昭男代表は十八日、同市鹿沼台の大野北公民館で市議会報告会「新議員と一年を振り返る」を開催する。

昨年四月の統一地方選で選ばれた女性市議員三人が、一年間の経験を踏まえて市議会の現状を報告し、定例会の傍聴を続けてきた「よくなる会」が議会運営などについて感想を述べた後、入場者も交えたディスカッションを行った。赤倉代表は、党派にこだわらず議会について話し合える市内で唯一の機会。率直な声を議員にぶつけてほしい」と来場を呼びかけている。報告会は午後一時から三時半まで。入場無料。

神奈川新聞 4月17日

相模原市議会をよくなる会 (相模原市)

「住民の代表」として選挙で選ばれる市議さん。条例を作ったり、税金の使い道を監視したり、と役割は重大です。何より役所の暴走に歯止めをかける「チェック機関」としての使命があります。その重責は年約1120万円(昨年度)という高い報酬が物語るしています。

でも、実態は役所の政策を追認しているだけの人が多いのです。選挙が終わると市民の目が、あまり行き届かないからです。そんな現状を許すまいと議会をウォッチングしているサークルです。議会の質の向上は、市民生活の向上に必ず、つながるはずだからです。

活動の中心は年間を通じての傍聴活動。年4回ある定例会本会議はもちろん、常任、特別、議会運営の各委員会、臨時会まで、1度も欠かさずにメンバーを派遣。発言内容や、寝起り、私語もチェックし、聞いたまま、見たままを会報にまとめます。約1000部発行し公民館などに配ります。議事進行上の問題点に言及したり、各議

議会の一年振り返る

相模原で
あす
傍聴活動の市民団体

市議会の傍聴活動を行っている市民団体「相模原市議会をよくなる会」(赤倉昭男代表)は十八日、昨年四月の統一地方選から一年間の議会の傍聴者の立場を振り返る「第七回市議会報告会」を開く。新人議員二人も参加予定で、「率直な声を議員にぶつけてほしい」と、市民の参加を呼びかけている。

傍聴欠かさず、チェック



議会を傍聴するメンバー

員さんの実名を挙げて採点評価したこともあります。実績も挙げてきました。非公開だった議会運営委員会を傍聴可能にしたり、審議内容の原案を傍聴者に貸与させたりと、「開かれた議会」を少しずつ実現してきました。現在は議事録への議員の実名掲載を求めています。

メンバーは賛助会員を含めて63人。大半は「市政に不満があった」ことが人会のきっかけです。男性は50、60代、女性は40代が中心ですが、年齢不問です。健全な議会と住み良い相模原を求めて、一緒に活動しましょう。年会費2000円。入会希望や問い合わせは赤倉昭男代表＝電042(749)9140＝へ。

【投稿規定】400字詰め原稿用紙2枚(800字)以内。写真(活動内容が分かるような構図で、写真説明を裏に書いてください)を添付。原稿・写真は返却しません。会の事務局、代表者と連絡・問い合わせ先を明記。掲載が遅れたり、掲載されないこともあります。投稿は〒231-0007 横浜市中区弁天通4ノ52、ナインティー横浜ビル4階、東京新聞横浜支局「仲間・サークル」係へ。

仲間サークル

東京新聞 4月17日

市議会を傍聴の市民団体報告会

相模原

一年を通じて相模原市議会を傍聴している同市の市民団体「相模原市議会をよくなる会」(赤倉昭男代表)は十八日午後一時半から、J.R.野辺駅前前の市立大野北公民館で市議会報告会を開く。同会が見てきた議会の現状を報告するほか、昨年の統一地方選で初当選した女性市議員三人を招き、議会改革に向けた取り組みや、議員になってみて感じた「傍聴」について語ってもらう。参加者から三人に感想をぶつける時間も設けられる。問い合わせは赤倉代表＝電042(749)9140＝へ。

相模経済新聞 5月10日

新人3議員が小川市政批判

活動報告会で

相模原市議会をよくなる会(赤倉昭男代表)は四月十八日、相模原市鹿沼台の大野北公民館で、昨年の統一地方選で初当選した市議会議員を招き、二年を振り返る「報告会」を開催。岩上登子議員が出席し、一年間の実績や市議会の感想などを発表した。一方で同会会員や河原原、相模湖の町会議員ら約四十人が参加。「市民の声をいかに政策にいかすか」とのよう行政の情勢、市議会の状況を市民に報告しているか」とい

満5年の総会開く

発足の地・大野北公民館で、5月16日—



写真・大野北公民館案内より

この1年間の成果では、統一地方選挙の市議選直前2月に発行した『46議員の通信簿』、議会運営委員会の審議資料貸与、同委員会の議事録作成化、産業廃棄物処理施設対策の超党派議員団の結成推進などだったが、残念な事は、議会改革の陳情3件の不採択などがあげられた。

会運営の問題点では、傍聴する会員の固定化や機関紙発行に要するスタッフが不足勝ちなこと、代表など執行部役員の固定化問題のほか、機関紙の普及拡大や市民への情報提供の更なる努力など会の基本的課題が取り上げられた。今後は県内各地の議会傍聴にも力を入れていく方針だ。 ■

臨時号の反響

—— 合併問題・緊急座談会 ——

THE GALLERYの臨時号『これでいいのか市町合併』（7月7日発行）が、発行とともに話題を呼び、市内や関係する町民からの入手を求める声が相次いだ。

相模湖町、城山町、藤野町の市民グループからは複写プリントの許可を求められた。「情報が足りない」との声に答える形になったらしい。

（訂正：P4・6行目の「藤野町の議員数・報酬が半分」発言は誤認で、現行に変更はありません。）



編集後記

- 相模原の議会制度を変えようとしている。民主主義を前進させるのか、後退させるのか。少数派の声をどう生かすのか、その知恵が試されている。
- 市庁舎内のモラルが問われるような事件が多発している。議会のチェック機能を今こそ発揮してほしい。（赤）

議会へ行こう！— 9月定例会日程（会議の開始は毎日朝9時半から）

8月20日（金）議会運営委員会	9月13日（月）民生委員会	陳情締切り日は 8月25日
8月26日（土）本会議（議案説明）	9月14日（火）建設委員会	
9月6日（月）本会議（総括質疑）	9月15日（水）文教委員会	
9月7日（火）本会議（予備日）	9月28日（火）本会議（委員長報告）	
9月9日（木）総務委員会	9月29日（水）本会議（一般質問）	
9月10日（金）環境経済委員会	9月30日（木）本会議（一般質問、議運委）	

□入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。（A, B どちらか ○をつけてください。）

氏名 _____

A. 会員（傍聴など活動する）として

住所 _____

B. 賛助会員（購読し、支援する。）として

☎. FAX _____

●年会費（会員2000円、賛助会員1口1000円から）

★郵便振込口座番号:00280-6-48430 相模原市議会をなくする会

★申込み先= 相模原市議会をよくする会・事務局（代表/ 赤倉昭男）

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140